



# 大切な 新型コロナワクチン



産業医 田名 毅  
首里城下町クリニック

今年最後の産業医だよりは、今話題の新型コロナワクチンについて私の考えていることをお話します。

## 1、インフルエンザワクチンと新型コロナワクチン接種の対象

県内では現在(2024年12月25日時点)、新型コロナ感染症の罹患率は高くない状況で、むしろ本土で先行し流行しているインフルエンザ A 型が、寒さを増す正月明けに急増することが懸念されています。

このような状況下、厚生労働省は毎年秋〜冬にかけて65歳以上の方に助成金を出して行ってきたインフルエンザワクチンに加えて、2024年度から同じ対象年齢の方々に新型コロナウイルスワクチンを実施することを決めました。

新型コロナウイルスによって死亡する方々の9割以上が65歳以上であることを理由に、対象年齢を決定したという背景があります。

## 2、新型コロナワクチンの費用助成

インフルエンザワクチンに比べて高額である新型コロナワクチン(原価1万5千円)を、国・市町村が助成金を出して、那覇市は3千円で受けられるようになっています。以前は無料であったコロナ禍の時期を考えると、高く感じる方もいると思いますが、かなり市民にとって考えられた値段になっています。しかし、残念ながら、下の理由で接種を控える方々が多い状況です。

- ① これまでに何度も接種してきたので、もういいんじゃない…
- ② 過去に熱などの副反応が出たことがあるので受けたくない
- ③ ワクチンの悪い噂ばかりが家族や友人、インターネットなどから入ってくるので受けたくない
- ④ レプリコンワクチンという新しいワクチンを使うなら打ちたくない等々です。

## 3、コロナ死者 5類移行後インフルの15倍

皆さんはこの記事をお読みになりましたか？

⇒当院ではこの現状を伝え、ワクチン接種案内をしています

実はこの1年間でインフルエンザ関連よりも、**新型コロナウイルス関連で亡くなった高齢者が多い**のです。

実際に私の関わっているクリニックでも、高齢者で病気をもちながらも元気を保っていた方々が、**新型コロナウイルス感染を契機に重篤な状況になった状況を数多く**みてきました。

2024年10月25日(金)

沖縄タイムス 掲載

### コロナ死者年3万2千人 5類移行後 インフルの15倍

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う死亡が、前年より増加傾向にある。沖縄タイムスによると、2024年5月24日までの1年間で、死者が約3万2千人に達した。これはインフルエンザの死者数(約2千1百人)の約15倍に達している。厚生労働省は、高齢者の死亡リスクを低減させるため、2024年度から65歳以上の高齢者に新型コロナウイルスワクチンの接種を義務付ける方針を示している。沖縄タイムスは、高齢者の死亡リスクを低減させるため、2024年度から65歳以上の高齢者に新型コロナウイルスワクチンの接種を義務付ける方針を示している。沖縄タイムスは、高齢者の死亡リスクを低減させるため、2024年度から65歳以上の高齢者に新型コロナウイルスワクチンの接種を義務付ける方針を示している。

が約16倍だった。同時期のインフルエンザの死者数は約2千1百人。新型コロナウイルスは、ウイルスが次々と変異して高い感染力を持つ。高齢者は免疫力が低下し、基礎疾患のある高齢者が感染して亡くなるケースが多くなっている。男女別では男性1万6,000人、女性1万4,000人。男性の方が多い傾向だった。喫煙者や慢性疾患の患者が男性に多いことが一因の可能性はあるが、詳細は明らかでない。

当院でも予約なしで  
コロナワクチン接種  
可能です。  
ご希望の方は医師または  
職員へお声掛けください。

新型コロナウイルスによる年間死者数は、5種類のインフルの流行で感染が急拡大した22年は4万7,000人、23年は5万8,000人で減少傾向にある。

#### 4、ワクチン接種で高齢者の新型コロナウイルス感染症の重篤化を防ぐ

これらを踏まえて私のクリニックでは、通院中の65歳以上の方々にインフルエンザワクチンに加えて新型コロナワクチン接種を積極的に推奨し、実施しています。 当院に掲示している案内ポスター⇒  
現時点で当院ではインフルエンザワクチン接種者 1300 人程度に対して、新型コロナワクチンは 600-700 人接種しています(那覇市内の医療機関では一番多い…との話もあります)。  
ちなみに当院では、以前より集団接種で利用しているファイザー社のワクチンを接種しています。  
この産業医だよりを読んで是非考えて欲しいのは、**皆さんの近くにいる高齢の方々を、新型コロナウイルス感染症で重篤な状態になることを防ぐという観点**です。  
インターネットや、ワクチンの風評被害に惑わされることなく、**市町村から接種券が届いている 65 歳以上の方々に、新型コロナワクチンを接種することを勧めただければと思います**。医師会ではポスターを作成してワクチンを推奨しています。是非、私が産業医として関わっている皆様には正確な知識を持ち、良識ある発言と行動をお願いしたいと望みます。

### 当院で接種できます



接種期間：  
令和7年3月31日

#### インフルエンザワクチン

- 65歳以上の方
- 60歳～64歳で対象となる方 1,000円
- 上記以外の方 5,000円

#### 新型コロナワクチン

- 65歳以上の方
- 60歳～64歳で対象となる方 3,000円
- 上記以外の方 16,000円

首里城下町クリニック第一

## ワクチンの重要性 わかるよね～！



高齢者のコロナ重症化予防にはワクチン接種が有効です。▶▶▶



##### 予防接種法に基づく新型コロナ定期予防接種の対象者

- 65歳以上の方
- 60～64歳で心臓や腎臓の障害があり、身の回りの生活を極度に制限される方
- 60～64歳でヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方

##### 定期接種の実施期間・接種費用等について

接種時期は令和6年10月1日～令和7年3月31日の間で予定されています。  
詳しい接種期間、接種費用については、お住まいの市町村にお問い合わせください。



沖縄県医師会

後援：沖縄県

令和6年10月～令和7年3月



## 第 245 首里城下町クリニック地域むけ医療講演会

YouTube 配信

テーマ：『高血圧に真剣に向き合って！』

日時：令和7年1月8日（水） 午後7時～配信

講師：首里城下町クリニック 第一院長 田名 毅



その他クリニックに関しては HP をご覧ください <http://www.shuri-jc.jp>

首里城下町クリニック『働く人健康支援室』は、



産業医・内科医  
高血圧が専門です  
田名 毅

あなたの **健康相談窓口** です！

### 相談窓口

産業医は、あなたの職場とそこで働く人々の心とからだの健康を支援します。

★訪問日を設けている事業所の職員は、お気軽に訪問日をご活用下さい。

★クリニック内の『働く人健康支援室』では健康相談を行っています。  
事前にお電話の上、いらしてください。

★クリニック内での産業医との面談は診療後となりますが調整の上、可能です。  
事前のお電話で調整します。“産業医や保健師と面談希望”とお話してください。診察や検査の必要がない限りは無料です。

★その他、電話やメール相談も随時行っています。



保健師・産業カウンセラー  
キャリアカウンセラー CDA  
認定産業看護師  
公認心理士 田名彩子



保健師・産業カウンセラー  
キャリアカウンセラー CDA  
與儀雅代



### 連絡先

首里城下町クリニック 働く人健康支援室  
098-885-5000

携帯 080-4312-9200(田名彩子)  
メール [sien@sjc.dr-clinic.jp](mailto:sien@sjc.dr-clinic.jp)(働く人健康支援室)

プライバシーは守ります。  
お気軽にご利用下さい！